

伊方発電所の耐震安全性評価の経緯

- 平成18年9月19日 原子力安全委員会は、「発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針」を改訂。
- 平成18年9月20日 県は、新耐震指針に基づき、適切かつ早急な再評価及び評価結果に基づいた適切な措置を実施し、結果については速やかに報告するとともに、県民に対して十分な説明を行うよう要請。
- 平成18年9月21日 原子力安全・保安院は、既設発電用原子炉施設について、新耐震指針に基づく耐震安全性の再評価を実施し、報告するよう指示。
- 平成19年3月14日 伊方原子力発電所環境安全管理委員会において、耐震設計審査指針の改訂内容について聴取。
- 平成19年7月16日 新潟県中越沖地震が発生。
- 平成19年9月5日 技術専門部会において、新潟県中越沖地震を踏まえた伊方発電所の対応等について聴取。
- 平成19年9月6日 管理委員会において、新潟県中越沖地震を踏まえた伊方発電所の対応等について聴取。
- 平成19年11月1日 技術専門部会において、新潟県中越沖地震を踏まえた伊方発電所の対応等について聴取。
- 平成19年12月27日 原子力安全・保安院は、新潟県中越沖地震から得られる知見を中間的に取りまとめ、耐震安全性評価に反映するよう指示。
- 平成20年3月11日 技術専門部会において、国の指示内容及び伊方発電所の対応等について聴取。
- 平成20年3月12日 管理委員会において、新潟県中越沖地震を踏まえた伊方発電所の対応等について聴取。
- 平成20年3月28日 四国電力(株)は、耐震安全性評価の中間報告を原子力安全・保安院、県に提出。
- 平成20年4月14日 原子力安全・保安院のワーキンググループにおいて、伊方発電所の耐震安全性評価に関する審議が開始。
- 平成20年5月2日 技術専門部会において、耐震安全性評価の中間報告について審議。
- 平成20年10月22日 技術専門部会において、5月2日に引き続き審議。管理委員会において、中間報告と原子力安全・保安院の指示内容について説明。
- 平成21年2月2日 四国電力(株)は、3号機の耐震安全性評価の本報告書を原子力安全・保安院、県に提出。
- 平成21年2月4日 県は、四国電力(株)に対して、アスペリティを発電所前面に設置した評価を実施するよう要請。
- 平成21年3月16日 四国電力は、県からの追加評価要請に対する評価結果を県に提出。
- 平成21年3月25日 技術専門部会において、3号機の本報告、県要請の追加評価の結果について審議。
- 平成21年3月30日 管理委員会において、3号機の本報告、県要請の追加評価の結果について聴取。
- 平成21年8月5日 原子力安全・保安院の地震・津波、地質・地盤合同ワーキンググループAサブグループにおいて、基本震源モデルの長さや傾斜角、不確かさの考え方について論点が整理され、基本震源モデルの断層長さを4.2 kmから5.4 kmに変更。
- 平成21年8月12日 技術専門部会及び管理委員会において、伊方3号機の耐震安全性評価に係る原子力安全・保安院の審議状況について聴取。
- 平成21年12月24日 原子力安全・保安院の合同ワーキンググループ及び構造ワーキンググループにおいて、「基準地震動570ガル」の策定等は妥当であり、3号機の安全上重要な建屋、設備の耐震安全性は確保される。」との評価書(案)を取りまとめ。
- 平成22年1月7日 原子力安全・保安院から伊方3号機の耐震安全性について、四国電力の報告は妥当である旨、評価・公表され、原子力安全委員会へ報告。
- 平成22年1月22日 原子力安全委員会の耐震評価特別委員会において、「原子力安全・保安院の評価は妥当である」との見解書(案)を取りまとめ。
- 平成22年1月25日 原子力安全委員会において、原子力安全・保安院の評価は妥当である旨の見解を決定・公表。